

九州国立博物館 2017 7/11 日[火]ー9/3 日[日]

特別展：『世界遺産 ラスコー展』 ～クロマニヨン人が見た世界～

応援セミナー

7/31 MON

18:30～



『世界遺産 ラスコー展 ～クロマニヨン人が見た世界～』を楽しむ

1940 年、フランス南西部の田舎町で、4 人の少年たちが穴に落ちた犬を追って石灰岩の洞窟にもぐりこみました。そこで彼らが見たのは、600 頭もの動物群像を描いた彩色壁画でした。その壁画は、後に「先史時代のシステーナ（礼拝堂の壁画）」と激賞されるような見事な出来栄でした。それを描いたのは 2 万年前に生きたクロマニヨン人たちで、考古学者からは「人類初の芸術家」の名が与えられました。

本展では、科学技術を駆使して会場にラスコー洞窟を再現し、また最先端の研究にもとづいて、クロマニヨン人の家族を再現しています。世界遺産ラスコー洞窟壁画の意義や、ここでしか聞けない展覧会の裏話など、本展をもっともっと楽しむための講座です。



日 時：7 月 31 日(月) 18 時 30 分～20 時
セミナー終了後交流会（30分程度）

会 場：BIZCOLI 交流ラウンジ

定 員：40 名 ※定員になり次第締め切り

参加費：500 円（賛助会員・BIZCOLI 会員・一般）

講師：河野 一隆氏

九州国立博物館文化財課 課長

福岡県柳川出身。今では数少なくなった九博のオープニングスタッフの一人です。考古学が専門で、九州に多い装飾古墳を研究しています。ラスコー洞窟に行ったことはありませんが、九州に花開いた原始絵画のルーツを探りたくて本展の担当になりました。2 万年前というとはるか遠い昔のようですが、現代の私たちと変わらぬ美意識には、きっと驚くことでしょう。



講師：西島 亜木子氏

九州国立博物館 企画課
プロジェクトリーダー

福岡県福岡市出身。お客様がいかに博物館を楽しめるかを考える仕事をしています。展覧会の担当になるまではクロマニヨン人とネアンデルタール人の違いもわかりませんでした。クロマニヨン人になった気持ちで、服を縫ったり、骨笛を作ったりしてみた私が、クロマニヨン人のものづくりの技について熱く語ります。



下記の項目を記入の上、**FAX (092-721-4908)** または、ホームページ (<http://www.bizcoli.jp>) から申込みください。（定員 40 名になり次第、締め切らせていただきます）

会社名	所属／役職		
住 所	電話番号		
Mail アドレス	当会は地域の情報等をタイムリーに配信するメールマガジンをお届けしております。 不要の方は○を付けてください（ ）		
お名前	交流会	参加する	参加しない

お問い合わせ先：（公財）九州経済調査協会 BIZCOLI 瀬口・田中

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル共創館3階

TEL：092-721-4909

FAX：092-721-4908

主催：九州経済調査協会

後援：九州国立博物館振興財団

BIZCOLI
BIZ COMMUNICATION LIBRARY